

政治・経済	公民科（政治・経済）ロードマップ
期待する生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ◆現代社会を多面的・多角的，グローバルに捉えることができる生徒 ◆主体的に考え，公正に判断し，健全な批判力を高めようと努力する生徒 ◆主体的に社会の形成に参加できる生徒

大項目	中項目	単元	単元のねらい (身に付けさせたい力等)	【単元を貫く問い】	題材例
(1) 現代の政治	ア 民主政治の基本原則と日本国憲法	①政治と法の意義と機能	政治と法の社会秩序維持機能について理解させる。 (基本的な概念・理論を捉える力)	【なぜ政治や法が必要か】	無政府状態に陥っている国(ソマリア等)の状態
		②民主政治の本質	民主政治はさまざまな形態があることを理解させる。 (基本的な概念・理論を捉える力)	【なぜ国ごとに政治体制が異なるのか】	アメリカの議会における大統領の扱い
		③基本的人権と法の支配	法の支配と立憲主義について理解させる。 (基本的な概念・理論を捉える力)	【なぜ法の支配や立憲主義が民主政治に必要なのか】	イギリスの不文憲法による立憲主義
		④日本国憲法における基本的人権の尊重	日本国憲法における基本的人権が普遍的価値を持っていることを理解させる。 (基本的な概念・理論を捉える力)	【何が日本国憲法において基本的人権とされ，それはなぜ基本的人権として規定されているか】	日本国憲法と大日本帝国憲法の比較
		⑤権利と義務の関係	権利とは義務を伴うものであることを理解させる。また，権利と権利の衝突を調整する原理として公共の福祉という考え方などがあることを理解させる。 (多面的・多角的に考察する力)	【権利の衝突があったとき，どのように解決すべきか】	プライバシーの権利に関する裁判の判例
		⑥国民主権と天皇の地位と役割	国民主権と関連させながら，天皇が日本国及び日本国民統合の象徴であること，内閣の助言と承認により国事行為を行っていることを理解させる。 (基本的な概念・理論を捉える力)	【なぜ天皇は国政に関する権能を持たないか】	明治憲法時代の天皇機関説事件
		⑦議会制民主主義	日本国憲法下の制度や機構の背景にある民主政治の考え方について考察させる。また，議会制民主主義が国民代表制と多数決の原理に基づく議会を通じて運営されていることを理解させる。 (基本的な概念・理論を捉える力)	【どのような理由で現在の政治制度や政治機構が設けられたのか】	第二次世界大戦中の「翼賛選挙」の閣議決定

大項目	中項目	単元	単元のねらい (身に付けさせたい力等)	【単元を貫く問い】	題材例
(1) 現代の政治	ア 民主政治の基本原則と日本国憲法	⑧日本の政治機構	国会・内閣・裁判所などの政治機構について概観させ、これらの政治機構の存在の基礎となっている民主政治の諸原理について理解させる。 (基本的な概念・理論を捉える力)	【国会・内閣・裁判所は何のために存在するのか】	戦後の衆議院解散
		⑨地方自治	地方自治の仕組みと地方自治が民主政治において果たす役割について理解させる。 (基本的な概念・理論を捉える力)	【なぜ地方自治が必要か】	特色ある条例
		⑩政治参加	国民の政治参加が政策決定に及ぼす影響や主権者としての政治参加の在り方について考察させる。 (公正に判断する力)	【これからの国民の政治参加はどうあるべきか】	18歳参政権の法案
		⑪現代政治の特質	多様化・複雑化した社会状況の中で、民主政治の抱える課題に気付かせる。 (課題を見いだす力)	【今日の民主政治の課題は何か】	マスメディアによる世論調査
	イ 現代の国際政治	①国際政治の特質や国際紛争の諸要因	国際社会が主権国家により構成されていることによる問題点について考察させる。 (多面的・多角的に考察する力)	【なぜ国際社会では戦争や紛争が絶えないのか】	旧ユーゴスラビア紛争
		②国際法の意義	国際法の基本的な仕組みと、強制力の不十分さ、国家主権の制限の意義について理解させる。 (基本的な概念・理論を捉える力)	【なぜ国際法が必要なのか】	国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約(ハーグ条約)
		③国際機構の役割	国際連合や地域的な政府間機関などが国際社会における諸問題に取り組んでいることを理解させる。 (多面的・多角的に考察する力)	【なぜ国際機構が必要なのか】	ユネスコと世界遺産条約
		④国際社会の変遷	冷戦後の国際政治の動向について把握させる。 (多面的・多角的に考察する力)	【冷戦後から現在まで、国際社会はどのように変化していったか】	チェ・ゲバラの肖像とアメリカの対キューバ政策転換
		⑤我が国の安全保障と防衛及び国際貢献	平和と安全の確保が、人類の福祉を実現する上で欠くことのできないものであることに気付かせるとともに、日本国憲法の平和主義の理解の上に立って我が国の安全保障と防衛について理解を深めさせる。 (多面的・多角的に考察する力)	【我が国の平和と安全をいかに確保していくか】	日米安全保障条約と集団的自衛権

大項目	中項目	単元	単元のねらい (身に付けさせたい力等)	【単元を貫く問い】	題材例
(1) 現代の政治	イ 現代の国際政治	⑥国際社会と人類の福祉に寄与する日本の役割	グローバル化が進行する国際社会の中で日本が果たすべき役割について考察する。 (課題を見いだす力)	【国際社会の中で日本の果たすべき役割はどうあるべきか】	日本国憲法前文
(2) 現代の経済	ア 現代経済の仕組みと特質	①現代経済の特質	現代経済が混合経済で運営されていることを気付かせる。 (基本的な概念・理論を捉える力)	【なぜ混合経済が現代経済の主流となっているか】	中国社会主義市場経済とファストファッションの関連
		②経済活動の意義	経済活動が人間生活の維持・向上のためのものであること、そのためには希少性の問題解決が必要であること、その方法の違いによって経済体制の違いが生まれていることを理解させる。 (基本的な概念・理論を捉える力)	【何のために経済の仕組みは存在するのか】	機会費用の考え方とコスト計算
		③国民経済における家計・企業・政府の役割	家計・企業・政府の役割と、その相互関係によって国民経済が構成されていることを理解させる。 (基本的な概念・理論を捉える力)	【家計・企業・政府の国民経済の中での役割は何か】	政府の政策によるインセンティブの変化
		④市場経済の機能と限界	市場が需要と供給をつなぐ場であり、経済的資源を効率的に配分する仕組みであるため、さまざまなものが市場によって取引されていることを理解させる。 (基本的な概念・理論を捉える力)	【なぜ資本主義経済では商品が市場で売買されているか】	ビールの価格
		⑤経済成長と景気変動	国民福祉の向上のために、政府による経済政策が重要になっていることに気付かせる。 (多面的・多角的に考察する力)	【国の豊かさは何によって測られるか】	経済成長率のグラフと景気動向指数, 日銀短観
		⑥金融の仕組みと働き	金融が経済主体間の資金の融通であることを理解させる。 (基本的な概念・理論を捉える力)	【経済の中で、金融機関はどんな役割を果たしているか】	金融機関の広告
		⑦財政と租税	現代経済における有効需要政策とその問題点について理解させるとともに、財政政策が国民福祉の向上に寄与する目的で行われていることに気付かせる。 (多面的・多角的に考察する力)	【なぜ財政活動が必要か】	税制改革の是非

大項目	中項目	単元	単元のねらい (身に付けさせたい力等)	【単元を貫く問い】	題材例
(2) 現代の経済	ア 現代経済の仕組みと特質	⑧物価の動き	インフレーションとデフレーションの要因と影響について理解させる。 (基本的な概念・理論を捉える力)	【なぜインフレやデフレが起きるか】	第一次世界大戦後のドイツのハイパーインフレ
		⑨経済活動の在り方と福祉の向上	経済発展における効率性の追求と、国民福祉における公平性や公正の関連とバランスについて理解させる。 (多面的・多角的に考察する力)	【経済発展における効率性と、国民福祉における公平性や公正をどのように両立するか】	最低賃金制度が所得再分配に及ぼす影響
		⑩消費者問題	情報の非対称性の観点から消費者保護の重要性について理解させ、併せて消費者としての自立とは何かについて考えさせる。 (多面的・多角的に考察する力)	【なぜ消費者問題は起きるのか】	食品偽装問題
		⑪公害防止と環境保全	外部不経済の観点から公害について理解させ、環境保全におけるさまざまな協調の在り方について考察させる。 (多面的・多角的に考察する力)	【環境問題におけるさまざまな協調はどうあるべきか】	海洋ゴミの越境汚染
	イ 国民経済と国際経済	①貿易の意義	比較生産費説について理解させる。 (基本的な概念・理論を捉える力)	【なぜ貿易が行われるのか】	比較優位の決定要因と保護主義の関係
		②国際収支と為替の仕組み	外国為替では自国通貨と外国通貨に対する需給関係から為替レートが決定する変動相場制が採用されていることを理解させる。 (基本的な概念・理論を捉える力)	【なぜ外国為替相場は変動するのか】	「ビッグマック指数」と為替相場
		③国際協調の必要性和国際経済機関の役割	グローバル化の進展に伴い、国際経済の安定成長のために経済政策面での国際協調が必要になっていることに気付かせる。 (多面的・多角的に考察する力)	【なぜ国際的な経済危機は起きるのか】	リーマン・ショックの影響と原因
		④国際経済の特質	国際経済では市場経済の原則に基づく一体化の動きが強まっていることを把握させる。(課題を見いだす力)	【世界経済におけるグローバリゼーションの問題点は何か】	スーパーでのチリ産の鮭の増加
		⑤国際経済における日本の役割	国際経済の安定と成長のために果たすべき日本の役割について考察させる。 (課題を見いだす力)	【地球全体の「持続可能な開発」のために日本は何をなすべきか】	JICAの事業について調べる

大項目	中項目	単元	単元のねらい (身に付けさせたい力等)	【単元を貫く問い】	題材例
(3) 現代社会の諸課題	ア 現代日本の政治や経済の諸課題	課題探究学習 1	ア 現代日本の政治や経済の諸課題について、政治と経済との関連に留意しながら多面的・多角的に探究させ、持続可能な社会の形成という視点から望ましい解決の在り方について考察を深めさせる。 (課題を見いだす力) (考えを適切に表現する力)	【単元を貫く問い】は生徒が設定する。	資料及び題材は生徒が設定する。
	イ 国際社会の政治や経済の諸課題	課題探究学習 2	イ 国際社会の政治や経済の諸課題について、政治と経済との関連に留意しながら多面的・多角的に考察させ、持続可能な社会の形成という視点から望ましい解決の在り方について探究させる。 (課題を見いだす力) (考えを適切に表現する力)	【単元を貫く問い】は生徒が設定する。	資料及び題材は生徒が設定する。

公民科 単元デザイン

科目

政治・経済

期待する生徒像	◆現代社会を多面的・多角的, グローバルに捉えることができる生徒 ◆主体的に考え, 公正に判断し, 健全な批判力を高めようと努力する生徒 ◆主体的に社会の形成に参加できる生徒
---------	--

(1) 現代の政治 イ 現代の国際政治

単元	国際政治の特質や国際紛争の諸要因	ねらい	国際社会が主権国家により構成されていることによる問題点について考察させる。
----	------------------	-----	---------------------------------------

【単元を貫く問い】 【なぜ国際社会では戦争や紛争が絶えないのか】

この単元に身に付けさせたい力等	多面的・多角的に考察する力	評価場面◎
-----------------	---------------	-------

<p>第1次 国際社会の成立</p> <p>ねらい 主権国家体系について理解させる。</p> <p>◇核となる問い ◇国際政治は国内の政治と何が違うか。</p> <p>授業における主な活動</p> <p><主な言語活動></p> <p>問1 なぜ戦争はなくなるのか。 →個人で考えを書く。</p> <p>問2 個人間の争いと戦争の違いは何か。 →争いを収めるためのルール, 仲裁するための機関について, 指導者の説明を聞きながらまとめる。</p> <p>問3 国際政治において国家はどのように行動するか。 →教科書, 資料集などから抜き出し, まとめる。</p> <p><資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次・第二次世界大戦時の同盟関係図 ・アメリカ大統領ケネディの発言 “Domestic policy can only defeat us; foreign policy can kill us” 	<p>第2次 核兵器と軍縮</p> <p>ねらい 核兵器に対して, 人類はどのような取組をしてきたか理解させる。</p> <p>◇核となる問い ◇核兵器とは何か。</p> <p>授業における主な活動</p> <p><主な言語活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ミニミニ原爆展」を見て, 原爆の被害について感想を書く。 <p>問1 核兵器は恐ろしい兵器なのに, なぜ廃絶できないのか。 →パワー・ポリティクスの観点での核兵器の有用性についてまとめる。</p> <p>問2 軍縮を推進するにはどうすればよいか。 →「囚人のジレンマ」の例を元に, 信頼醸成措置についてまとめる。</p> <p><資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎市のホームページより「ミニミニ原爆展」 	<p>第3次 人種・民族問題</p> <p>ねらい 戦後の国際社会における人種や民族に基づく差別や抑圧の背景について理解させる。</p> <p>◇核となる問い ◇人種・民族問題の背景は何か。</p> <p>授業における主な活動</p> <p><主な言語活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧ユーゴスラビア出身のプロサッカー選手・監督のストイコビッチ氏が長年日本でプレーしたことと, サラエボオリンピックの開会式の画像と, 墓標の林立する現在のサラエボの街への変化の関連性を考え, 書く。 ・NHK for School の画像クリップ「ユーゴスラビア」の画像を視聴する。 <p>◎ →ユーゴスラビア紛争の経過と原因についてまとめる。</p> <p><資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドラガン・ストイコビッチ氏の経歴 ・1984年サラエボ冬期オリンピックの開会式の画像 ・サラエボ市内に林立する墓標の画像
---	---	--

評価観点	関心・意欲・態度	評価方法	ワークシート	評価規準	旧ユーゴスラビア紛争に対する関心を高め, その経過などを意欲的に追究し, 原因について客観的に考察できる。
------	----------	------	--------	------	---

公民科 単元デザイン

科目

政治・経済

期待する生徒像	◆現代社会を多面的・多角的, グローバルに捉えることができる生徒 ◆主体的に考え, 公正に判断し, 健全な批判力を高めようと努力する生徒 ◆主体的に社会の形成に参加できる生徒
---------	--

(2) 現代の経済 ア 現代経済の仕組みと特質

単元	公害防止と環境保全	ねらい	外部不経済の視点から公害について理解させ, 環境保全におけるさまざまな協調の在り方について考察させる。
----	-----------	-----	---

【単元を貫く問い】	【公害防止と環境保全におけるさまざまな協調はどうあるべきか】
-----------	--------------------------------

この単元で身に付けさせたい力等	多面的・多角的に考察する力	評価場面◎
-----------------	---------------	-------

<p>第1次 公害防止</p> <p>ねらい 外部不経済の視点から公害を理解させ, 公害防止の方策について考察させる。</p> <p>◇核となる問い◇ どうすれば経済の効率性と公害防止を両立することができるか。</p> <p>授業における主な活動</p> <p><主な言語活動></p> <p>問1 なぜペットボトルのポイ捨てが起きるのか。 →グループに分かれて意見をワークシートに記入, 発表</p> <p>問2 なぜポイ捨てが起りがちなのが販売されているのか。 →グループに分かれ意見をワークシートに記入, 発表 (指導者は「外部不経済」の視点を持つようにヒントを出す)</p> <p>問3 どうしたら空き缶やペットボトルのポイ捨てをなくせるか。 ◎ →グループに分かれて解決案を討議, 発表 (指導者は生徒が生産者・消費者にとって公害防止へのインセンティブとなる案が出るようにヒントを出す)</p> <p><資料></p> <p>コーラのペットボトル, ガラス瓶 清涼飲料水の容器別生産量データ, 一宮市ごみ散乱防止条例</p>	<p>第2次 環境保全</p> <p>ねらい 環境保全における国家間の協調の在り方について考察させる。</p> <p>◇核となる問い◇ 公害防止は環境保全とどのように関連しているか。</p> <p>授業における主な活動</p> <p><主な言語活動></p> <p>問1 ポイ捨てされた容器はどこへ行くか。 →グループごとに予想を立て, 発表する。</p> <p>問2 海に捨てられたゴミはどのような影響を人間や動物にもたらすか。 →資料を基にワークシートに箇条書きで表現する。</p> <p>問3 日本に漂着するゴミの状況はどうなっているか。 →「どこから, どのように」を明らかにし, 「なぜ」このような状況が起こったのかを資料を各自で分析し, ワークシートに記入する。 (中国・韓国の経済発展に気付かせ, また, 日本から海外へ流出するゴミも多量にあることを意識させる)</p> <p><資料></p> <p>環境省, 愛知県, 沖縄県の海洋汚染についてのパンフレット 福井県海浜自然センターの展示物の写真</p>	<p>第3次 環境保全</p> <p>ねらい 環境保全における国家間の協調の在り方について考察させる。</p> <p>◇核となる問い◇ 環境保全における国家間の協調はどうあるべきか。</p> <p>授業における主な活動</p> <p><主な言語活動></p> <p>問1 国境を越える海ゴミについて, 我々はどのように対処すべきか。 →配付された資料を基に, 各自で意見をまとめる。 (海洋ゴミは越境大気汚染に比べて対策が進んでいないこと, 「汚染者負担の原則」が適用しにくいことを考慮に入れるようにヒントを出す)</p> <p><資料></p> <p>動画 MIDWAY a Message from the : a short film by Chris Jordan”</p>
---	--	---

評価観点	思考・判断・表現	評価方法	ワークシート	評価規準	経済の効率性と公害防止の関係について, 多面的・多角的に考察し, その過程や結果をさまざまな方法で適切に表現できる。
------	----------	------	--------	------	--

公民科 単元デザイン

科目

政治・経済

期待する生徒像	◆現代社会を多面的・多角的、グローバルに捉えることができる生徒 ◆主体的に考え、公正に判断し、健全な批判力を高めようと努力する生徒 ◆主体的に社会の形成に参加できる生徒
---------	---

(3) 現代社会の諸課題 イ 国際社会の政治や経済の諸課題

単元	課題探究学習2	ねらい	国際社会の政治や経済の諸課題について、政治と経済との関連に留意しながら多面的・多角的に考察させ、持続可能な社会の形成という視点から望ましい解決の在り方について探究させる。
----	---------	-----	---

【単元を貫く問い】 【単元を貫く問い】 は生徒が設定する。

この単元に身に付けさせたい力等	課題を見いだす力 考えを適切に表現する力	評価場面◎
-----------------	----------------------	-------

小単元 国際経済格差の是正と国際協力

第1次	第2次	第3次	第4次 ◎
<p>授業における主な活動</p> <p><探究課題の選択></p> <p>①グループを作成する。</p> <p>②教員が提示したテーマ（例：「国際経済格差」「累積債務問題」「国連・NGOの活動」「政府開発援助」）の中から自分たちが探究課題としたいテーマを選択する。</p> <p>③ワークシートを用い、選択したテーマに関して、どのような点が、なぜ課題なのかをグループごとにまとめる。</p>	<p>授業における主な活動</p> <p><課題解決のための考察1></p> <p>（全てワークシート利用）</p> <p>①第1次でまとめた課題について、関係するのどのような立場の人たちで、その立場の違いによって課題に対する考え方がどのように違って来るかを考える</p> <p>②どうしたら課題が解決するのかを、さまざまな立場の人たちの意見と、持続可能な社会の形成という視点を加えて議論する</p> <p>③「議論を深めるにはどのような資料が必要か」を考え、資料の収集計画も立てる</p>	<p>授業における主な活動</p> <p><課題解決のための考察2></p> <p>（全てワークシート利用）</p> <p>①収集した資料の信頼性、情報の発信された意図などについてチェックし、利用すべき情報を取捨選択する。</p> <p>②資料を活用し、教科書や副読本の内容を参考にしして前回の議論を深める。</p> <p>③課題を解決するための方法をワークシートにまとめる（「どうしたら課題が解決するか」）</p>	<p>授業における主な活動</p> <p><解決の在り方を提言する></p> <p>①まとめたワークシートを元に各グループが発表を行う。</p> <p>②自己評価と相互評価を行う</p>

評価観点	思考・判断・表現	評価方法	ワークシート	評価規準	選択して採り上げた課題について、持続可能な社会の形成という視点から政治や経済と関連させながら多面的・多角的に考察し、望ましい解決の在り方について、幾つかの代表的あるいは対照的な考え方を対比させ、公正に判断してその過程や結果をさまざまな方法で適切に表現できる。
------	----------	------	--------	------	---